

電気による快適さ・豊かさを みなさまにつなぐ

北日本電線株式会社

取締役社長 倉成 祐幸



ご挨拶

北日本電線株式会社の倉成でございます。
日頃より当社事業にご理解ご支援を賜り、厚く
御礼申し上げます。またこの度は東北活性化研
究センター様の機関誌に寄稿する機会をいただ
きありがとうございます。

事業展開

北日本電線株式会社は、社名のとおり電線を
主力事業としておりますが、省力化機器等を扱
うエンジニアリング事業、融雪商品や床暖房を
扱うヒーティング事業、光通信網を支える光部
品等に関する光デバイス事業といった幅広い事
業分野を手掛けています。



DL-DV (引込用ビニル絶縁電線)：電柱から
家庭までの引込線として使用される配電線

最近の動向

(1) 送電線の増産と新商品

ひと言で「電線」といっても実際はたくさん

の用途と種類があります。電力用電線にも送電
線と配電線がありますが、電線あるいは電力事
業に関わらない方にはピンとこないのではない
でしょうか。例えば水道で言えば、上流の土管
のように極めて高い電圧で送るのが送電線、各
家庭まで水を配る水道管が配電線にあたります。
現在、風力などで発電された再生可能エネ
ルギーを消費地に運ぶため、電力各社によって
送電網の整備が進められています。当社はこれ
らに使われる架空送電線と呼ばれる電線の増産
を進めているところです。山から山へつながる
鉄塔と電線を目にされることがあると思いま
す。あの電線が架空送電線です。架空送電線は
軽量のアルミニウムと、強度を保つための中心
部の芯で構成されています。その芯には一般的
に鋼(はがね)が使われていますが、当社では
カーボンファイバ(炭素繊維複合材)を使用し
たものも製造しています。(写真右の「ACFR」
参照)。電線が軽量化され、例えば鉄塔を建て
替えずにより太い電線(大容量)に張り替える
ことも可能となります。



架空送電線 ACSR
(鋼心アルミニウムより線)



架空送電線 ACFR
(カーボンファイバ心
ヒレ付き低ロス電線)

(2) 省力化機器

当社には長いモノづくりの歴史と、生産設備のメンテナンスを通じて蓄積してきた電気や設計のノウハウがあります。これらを活かしてこれまでも各種の産業用機器・省力化機器を開発してきました。現在注力している製品の一つに「ケーブル張替工事フルアシスト装置」があります。地中ケーブルの張替工事において、撤去するケーブルの引き抜き・運搬しやすいサイズへの切断・新設するケーブルの引き入れを1台でこなす優れものです。これまで全国の電気工事会社等にご採用いただいております。他分野のお客さまからも引き合いをいただいているところです。



ケーブル張替工事フルアシスト装置

(3) 環境配慮の取り組み

環境への取り組みの一例として、電線のリサイクルを紹介します。当社では電線の導体（電気が流れる銅あるいはアルミの部分）とともに外側の被覆材もリサイクルしています。工事により撤去された電線の被覆材を材料に用いた再生プラスチック製軽量敷板「リピーボード®」は、軟弱地盤の仮設道路あるいは倉庫の床の破損防止など、幅広い用途に活用できることからご好評をいただいております。リサイクル材使用により生産プロセスでのCO₂排出量を削減しつつ、丈夫で軽量、長寿命な製品です。



再生プラスチック製軽量敷板
「リピーボード®」



リピーボード®の使用例

おわりに

当社は戦後間もない1946年に、北海道・東北に復興用資材である電線を供給する目的で設立されました。2011年の東日本大震災のときも被災地の復旧に必要な電線の供給に尽力しています。当社は、地域に根ざしつつ、今では全国の電力各社に送電線や配電線を納入しています。日常のなかで、電線を使っているという意識を持たれる方はなかなかいらっしゃらないかと思います。しかし、発電所があって照明器具があるだけでは明るくなりません。またエアコンがあるだけでは暖かくも涼しくもなりません。間を「つなぐ」電線が必要です。

北日本電線は明るさ・暖かさ・快適さを全国の皆さんにお届けする手助けをしている会社です。